

平成 31 年 4 月 30 日

六段候補者以上の試合得点の取り扱いについて

2019 年 4 月 1 日以降に開催される全国、地区高段者大会等に関して、以下の通り取り扱う。

1 高段者大会等の取り扱いについて

(1) 地区高段者大会参加者の「参加奨励点」について

講道館主催の全国高段者大会参加者同様、参加点 0.25 点が与えられる。

(補足)

すべての参加者に、大会成績にかかわらず参加点が与えられる。

(2) 全国柔道整復師高段者大会について

「年間において、さらに全国的規模で行われる高段者大会の成績を 1 試合のみ計上することができる」自由参加の大会として、七段、六段候補者の試合得点とすることができる。

(3) 日本ベテランズ国際柔道大会（地区ベテランズ柔道大会を含む）について

「得点は、講道館、全柔連及び講道館段位推薦委託団体が主催又は後援する大会のものに限る」大会として、七段、六段候補者の試合得点に年間 1.0 点を計上することができる。

(補足)

トーナメント形式の試合で、試合回数、段位に違いがあるため、対戦相手の段位により、試合の得点（内規 4p、8 (3) 参照）を算出して計上することができる（※団体戦を除く）。得点が、年間 1.0 点を越えた場合は、切り捨てられる。

2 八段候補者「古式の形」試験について

受験者は、七段昇段後、2 年毎の形試験を随時、複数回の受験することができる。

(補足)

七段昇段後、地区柔道連盟（連合会・協会）の推薦を受けて、「古式の形」試験を受験し、評定を受けることができる。

受験者は、講道館夏期講習会、講道館形講習会等を受講することが望ましい。

昇段のための認定試合

令和元年10月7日(訂正版)
公益財団法人東京都柔道連盟

認定段位	大会名	
八段 (七段の試合)	1 2 3 4	○ 東京都柔道選手権大会 ○ 東京・関東地区対抗選抜柔道大会(第1回大会は平成21年度) 東京都柔道高段者大会 全国柔道高段者大会
七段 (六段の試合)	5 6 7	上記1~4 東京都地区ブレイク柔道高段者大会(可のみ) 2005年(平成17年)3月31日以前:勝ち 0.75点、引き分け 0.375点 2005年(平成17年)4月1日~2015年3月31日:勝ち 0.5点、引き分け 0.25点 2015年(平成27年)4月1日~ :勝ち1.0点、引き分け 0.5点 警視庁柔道高段者大会(可のみ) 全国柔道整復師柔道高段者大会(2019/4/1~)
六段 (五段の試合)	8 9 10 11 12 13 14	上記1~7 東京都地区ブレイク柔道高段者大会 2005年(平成17年)3月31日以前:勝ち 1.0点、引き分け 0.5点 2005年(平成17年)4月1日~2015年3月31日:勝ち 0.5点、引き分け 0.25点 2015年(平成27年)4月1日~ :勝ち1.0点、引き分け 0.5点 ○ 東京都実業団柔道大会 ○ 都柔連対警視庁親善柔道試合 ○ 全国税関柔剣道大会 ○ 全国矯正職員柔道大会 ○ 警視庁柔道大会 ○ 全国教員柔道大会および東京都選考会 ※「優」の推薦は、選抜された大会の得点が10点以上あること。または、選抜された大会で6点以上あり、高段者大会と合わせて16点以上あること。 ※ 高段者大会のみの得点は「良」を上限とする。
五段 (四段の試合)	15 16 17 18 19 20 21	上記1~14 ○ 東京都生涯スポーツ大会(但し、2005年(H.17年)の大会までは六段、七段の良・可で認める) 日整全国柔道大会(団体戦)※点数は内規の4ページ(3)を参照 ○ 全国青年大会 ○ 都民体育大会 東京都柔道段別大会 東京都柔道接骨師柔道大会(記載できるのは2回まで) 東京都柔道道場連盟大会(記載できるのは2回まで)
四段 (参段の試合)	22	上記1~21 ○ 東京都24地区対抗柔道大会 ※ 加盟団体主催の大会(自由参加の大会で点数として認定される大会)
備考	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	○は選抜された大会、上記に記載の大会以外は「講道館昇段資格に関する内規」を参照。 現四段以上で昇段を希望する者は、東京都柔道高段者大会兼段別大会に出場することを原則とする。 推薦書に記載できる東京都柔道高段者大会は、年1回とする。 都柔連の主催および主管大会以外は、必ず試合成績記録を添付すること。 2015年4月1日~、全国柔道高段者大会(講道館主催)の参加者には参加点0.25点が与えられる。 2019年4月1日~、東京都柔道高段者大会の参加者(五段以上)には参加点0.25点が与えられる。